

## 岩手で働く魅力や 県北地域の発展について 意見を交わしました。

県議会では、定期的に県民の皆さんとの意見交換会を行っています。令和3年度後期は、12月13日に盛岡市、12月20日に九戸村を会場に開催しました。

盛岡市会場では、「地方で働く魅力と新たな可能性について」をテーマに、移住や起業などにより地域に根差した活動をしている方や、新たな価値の創出に取り組んでいる方々が参加し、岩手の強みや課題について意見を交わしました。

また、九戸村会場では「北いわての地域資源を生かした農林水産業・食産業振興について」をテーマに、それぞれの分野で活躍している方々が参加し、時代の変化に対応しながら地域の資源を生かしていくための取り組み、農林水産業や食産業の展望について意見を交わしました。

### 九戸村会場



※写真撮影のためマスクを外しています。



※写真撮影のためマスクを外しています。

### 参加者の感想

#### 兼松 智恵子さん

(盛岡市会場/AP TECH株式会社メディテック事業部市場開発担当)

神戸市出身で、大阪府で医師をしていましたが、2年前に八幡平市のメディカルバレープロジェクトに参加したことをきっかけに、現在は八幡平市のICTを活用した遠隔医療や遠隔見守りを中心にした事業に携わっています。医療など岩手の抱えている課題をビジネスとして広げていく可能性を、地域や分野を超えて病院の先生や住民の皆さんと一緒に提案していきたいので、行政や議員の皆さんにも力を貸していただきたいと思っています。

#### 荒谷 直大さん

(九戸村会場/荒谷果樹園園主)

我が家は代々農家で、私は3代目として二戸市で果樹園を営んでいます。りんごの「冬恋」はブランドとして定着し、二戸のカシオペア地域はりんごの販売額が県内で1位になりました。しかし、これからのことを考えると不安もあり、新品種の開発など農家が希望を持てる活動をしていきたいです。今日は自分の意見を伝えられ、他産業の方々の話も聞くことができ有意義でした。直接意見を言える場は貴重なので、こうした取り組みは、ぜひ継続してほしいです。

※詳しい内容は県議会ホームページでご覧になれます。

## 2月 定例会

2月定例会は、2月16日から3月25日まで開催されました。知事から提出された令和4年度岩手県一般会計予算など71件の議案は全て可決・同意され、議員・委員会が提出したロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議など13件の議案が可決されました。

また、知事からは新型コロナウイルス感染症への対応、東日本大震災津波からの復興、いわて県民計画(2019~2028)第2期アクションプランの策定などについて、教育委員会教育長からは、教育現場におけるICT活用、コロナ禍における教育と専門高校での人材育成など、所信と施策の概要について演説が行われました。



採決の様子

### 議決の状況

#### ◎令和4年度予算案【可決】

一般会計1件、特別会計10件、企業会計4件

#### ◎令和3年度補正予算案【可決】

一般会計2件、特別会計10件、企業会計4件

#### ◎令和4年度補正予算案【可決】

一般会計1件

#### ◎予算関連議案【可決】

農業関係の建設事業に要する経費の一部を負担させることに関し議決を求めることについてなど9件

#### ◎条例議案【可決】

岩手県の事務を市町村が処理することとする事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例など17件

#### ◎人事議案【同意】

副知事の選任に関し同意を求めることについてなど3件

#### ◎その他の議案【可決】

権利の放棄に関し議決を求めることについてなど10件

#### ◎議員・委員会提出議案【可決13件・否決1件】

決議1件、意見書13件(詳細は3ページに記載)

#### ◎請願

採択4件、一部採択1件、不採択5件(詳細は2ページに記載)

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。



「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テープ版・デジター版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。



#### ホームページのご案内

議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続などをご覧いただけます。  
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

編集・発行・  
問い合わせ先

#### 岩手県議会事務局

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号  
電話 (019) 629-6021・6022  
FAX (019) 629-6014  
E-mail gikai@pref.iwate.jp



岩手県庁の隣です

## 請願の採択状況

### ◎採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして採択)

- ▶令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する請願
- ▶令和4年度岩手地方最低賃金改正についての請願

### ◎採択

- ▶岩手県の動物愛護行政に関する請願
- ▶岩手県自転車の安全な利用等の促進に関する条例制定を求める請願

### ◎一部採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして一部採択)

- ▶2022年度最低賃金引き上げに関する請願

### ◎不採択

- ▶東京電力福島第一原子力発電所におけるA L P S 処理水の海洋放出基本方針を撤回し、安全な処理、保管方法の確立を求める請願
- ▶介護保険施設における補給給付の見直し中止を求める請願
- ▶「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願
- ▶mRNAワクチン接種時のインフォームド・コンセントの実態調査等に関する請願
- ▶岩手医大附属病院周産期センター実績を考慮した県内全産婦人科への実態調査に関する請願

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

## 県政に関する質問から

2月24日から3月2日まで行われた代表質問と一般質問では、15名の議員が質問に立ちました。その中から、それぞれ1項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

## 2/24(木) 代表質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。  
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止のアクリル板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。



**1人目**  
希望いわて  
なすかわ しん  
**名須川 晋** 議員  
花巻選挙区



**2人目**  
自由民主党  
いわさき ともかず  
**岩崎 友一** 議員  
釜石選挙区



**3人目**  
いわて新政会  
なかない ひとし  
**中平均** 議員  
久慈選挙区

### 県のRE100の達成を目指す取り組み

**問** 環境省では、2030年を目途とした再生可能エネルギー100%の電力調達を目指し、全国の地方環境事務所管内での取り組みを進めている。また、公的機関のための再生可能エネルギー導入を促している。

自然が豊かで自ら再生可能エネルギーを作っている本県において、県有施設でのRE100達成施設の事例が未だないのが不思議でならない。県のRE100の達成を目指す取り組みの推進について、知事の所見を伺う。

**答** 県では、県有施設を含めた事務事業における温室効果ガスの排出削減を図るため、久慈地区合同庁舎では本年3月から、二戸地区合同庁舎では4月から、管内で発電された再生可能エネルギー100%の電力を地域新電力を通じて調達するなど、RE100に向けた取り組みを推進している。

来年度は、県立学校を含めた約200カ所の県有施設について、再生可能エネルギーの導入に向けた調査を行うこととしており、今後、導入に適した施設から、順次、取り組んでいく。

県としては、温室効果ガスの2050年実質ゼロの達成に向けて、RE100にも率先して取り組みながら、地域経済と環境に好循環をもたらすグリーン社会の実現を進めていく。



第2次岩手県地球温暖化対策実行計画 表紙

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 持続可能で希望ある岩手を実現する行財政研究会
- 2 脱炭素社会を目指す条例の制定
- 3 小児へのワクチン接種
- 4 水田活用の直接支払交付金の見直し ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### 被災地の地域経済回復に向けた戦略

**問** 震災から11年が経過し、今一度、復興とは何かを考えたとき、被災地は、心のケアやコミュニティの形成支援と並んで、地域経済の回復という大きな課題に直面している。復興の完遂に向けて、地域経済をどのような戦略で回復させようとしているのか、新年度予算の策定のプロセスとあわせて伺う。

**答** 近年、被災地は主要魚種の不漁や新型コロナウイルス感染症による打撃を受けている。これらの課題への対策を講じつつ、復興の取り組みで大きく進展した交通ネットワークや港湾機能、復興支援を契機とした国内外の多様な主体とのつながりや国の復興支援施策を活用し、企業誘致、地域産業の振興、三陸の豊かな食の高付加価値化、アフターコロナを見据えた観光振興などに取り組んでいる。

令和4年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、社会経済活動を支えていくことが、地域経済の回復や復興の推進にもつながるという方針で編成した。また、これまでの取り組みに加え、重点テーマであるデジタル化の推進、グリーン社会の実現に向け、サケ・マス類の海面養殖へのICT活用、デジタル活用による新商品開発や生産性向上の支援、海洋エネルギーを活用した新産業の創出などを推進していく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応
- 2 知事の政治姿勢
- 3 農林水産業の振興
- 4 地域医療の充実

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### 構想路線(仮称)久慈内陸道路の整備

**問** 令和4年2月5日に国道281号下川井工区が完成した。平成18年の下川井道路、平成29年の案内工区に引き続いての開通であり、災害緊急時の安全確保、物流の効率化、生活路線としての利便性向上、観光路線としての活用が見込まれ、ストック効果の発現による地域振興が期待される。

令和2年に事業化された国道281号の案内～戸呂町口工区の完成により、さらなる事業効果の発現が見込まれることから、早期完成を期待しているが、令和3年6月に県が策定した岩手県新広域道路交通計画の中で、構想路線に位置付けられた(仮称)久慈内陸道路の整備に向けた県の考え方を伺う。

**答** 県北地域の道路ネットワークの強化は災害に強い県土づくりに加え、物流の効率化や人的交流の活性化の面からも特に重要な課題である。このため、岩手県新広域道路交通計画では、国道281号を一般広域道路とし、これに重ねる形で久慈内陸道路を構想路線として位置付けた。これらの2つの道路の位置付けは、国道281号の将来的な高規格道路化を見据え、必要性の高い区間から順次、整備を進めていこうとするものであり、今後、久慈市と盛岡市間の連絡強化に向けて、必要な道路構造などの検討を進めていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 水産業の振興
- 2 県北・沿岸振興
- 3 新型コロナウイルス感染症、経済対策
- 4 鳥インフルエンザ対策 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



## 議員・委員会が提出した議案

今定例会では決議1件、意見書13件が提出されました。

可決された意見書等は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

### ◎決議(可決)

▶ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

### ◎意見書(可決)

▶最低賃金改正等に関する意見書

▶令和4年度岩手県最低賃金改正等に関する意見書

▶政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例

▶統計調査の不適切な取扱いに係る問題の原因究明と行政の信頼回復を求める意見書

▶多文化共生のための社会基盤整備を求める意見書

▶介護職員の処遇改善に係る制度の簡素化と対象職種の拡大を求める意見書

▶新型コロナウイルスまん延防止対策と経済対策の強化を求める意見書

▶公共交通への支援の強化を求める意見書

▶動物の愛護と適正飼養に関する財政支援を求める意見書

▶障がい者の地域生活支援の更なる充実を求める意見書

▶ヤングケアラーに対する支援の充実を求める意見書

▶令和4年度の水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書

### ◎意見書(否決)

▶水田活用の直接支払交付金の見直し中止を求める意見書

★意見書の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

## 2/25(金) 一般質問



4人目

いわて県民クラブ

みほこ  
ハクセル 美穂子 議員

滝沢選挙区



1人目

希望いわて

たかはし  
高橋 はじめ 議員

北上選挙区



2人目

自由民主党

かんざき ひろゆき  
神崎 浩之 議員

一関選挙区

### 子どもの医療費助成の拡充

**問** 医療費助成は、子育て中の家庭に対してまんべんなく支援ができる公的尺度として最も適切であると考えます。

高校卒業までの医療費助成が財政的に難しいのであれば、通院分を9歳まで引き上げることや、未就学児の所得制限を廃止するなど、今できる範囲で医療費助成の拡充を少しずつでも進め、子育て世代の負担感を軽減すべきと考えますが、知事の考えを伺う。

**答** 県の子どもの医療費助成の取り組みは、国による一律の助成制度がない中、市町村とも協議の上、補助対象や現物給付の対象を拡大するなど拡充に努めてきた。また、各市町村では、人口減少対策や子育て支援策として様々な施策が展開されており、医療費助成の対象についても、それぞれの政策的判断のもとに拡充が進められていると承知している。

子どもの医療費助成は、本来、自治体の財政力の差などによらず、全国どここの地域においても同等な水準で行われるべきものと考えており、全国一律の制度を創設するよう、今後も国に提言していく。

県の医療費助成の対象拡大などについては、本県の厳しい財政状況を踏まえ、国の動向を注視しながら県の医療・福祉政策全体の中で、総合的に検討していく。



小児科での診察の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 子どもの医療費助成の改善等要望
- 2 新型コロナウイルス感染症対策
- 3 知事と市町村長との対話
- 4 奥地等産業開発道路の利活用と周辺環境の整備

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の副反応・後遺症の治療体制

**問** 県の新型コロナウイルス感染症医療体制検討委員会では、ワクチン接種による副反応や後遺症障害の治療について協議をしているのか、体調不良を訴える県民をどのように救済していく考えなのか伺う。

また、ワクチン接種後の患者の診察のための応診経費などについて、国に支援を求めるとともに、県単独での予算措置も必要と考えるが見解を伺う。

**答** 県が設置する新型コロナウイルス感染症医療体制検討委員会では、限られた医療資源を有効に活用し、新型コロナウイルス感染症の患者に対し適切な医療を提供する方策を中心に議論を行っている。ワクチン接種による副反応や副反応を疑う事例は、かかりつけ医や接種した医療機関で受診することが基本となるが、これらの医療機関では対応が困難な場合の体制も確保している。

県では、県内の診療・検査医療機関に対して感染防護具や簡易陰圧装置などの整備費への財政支援を行っているほか、副反応などで受診した場合の医療費については、診療報酬の形で適切に措置されている。副反応などに対応する医療現場のニーズも踏まえながら、引き続き診療・検査医療機関が適切に対応できるよう支援していく。



ワクチン接種のイメージ

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナワクチンの特例承認、治験、遺伝子ワクチン
- 2 20歳未満の新型コロナワクチン接種
- 3 農業政策の展望
- 4 国道107号の斜面の調査とトンネル化 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



### アフターコロナの知事の県政運営

**問** コロナ禍による国全体の経済の疲弊に対しては、大規模な財政出動により経済を維持するべきという主張もあるが、国政や県政の運営における知事の見解を伺う。

また、国は、科学技術立国の実現、**デジタル田園都市国家構想**、経済安全保障の3つを成長戦略として掲げているが、これらの施策を県政運営の中でどのように活かしていくのか伺う。

**答** 国においては、新型コロナウイルス感染症対策を通じ、東京一極集中を是正して地方創生を成功するようにしていかなければならないと考えており、強い地方経済に支えられた強い日本経済の実現に向けた財政出動と内需拡大型の構造改革に取り組むことが重要である。県としては、令和4年度当初予算案において、人口減少社会への対応、デジタル化の推進、グリーン社会の実現の3つのテーマに沿った取り組みを重点的に実施し、コロナ禍を乗り越え、復興創生をデジタル・グリーンで実現することとしている。

国のデジタル田園都市国家構想は、県の重点テーマであるデジタル化の推進と軌を一にし、科学技術立国の実現は、ILCや水素利活用など、岩手県民計画の新しい時代を切り拓くプロジェクトと軌を一にしており、国の施策を本県の復興創生に最大限活かしたいと考えている。



いわて県民計画(2019~2028) 表紙

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症への対応
- 2 デジタルトランスフォーメーションの推進
- 3 教育の充実
- 4 県立病院の課題

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。





3人目

希望いわて

こにし かずこ  
小西 和子 議員

盛岡選挙区

### 学校における人員体制の強化

**問** 新型コロナウイルス感染症への対策として、子どもたちの命を守るために、小中高校、特別支援学校など全ての学校に配置されているスクールサポートスタッフを1年間配置すべきである。

また、クラスターが発生した学校に応援職員を配置する仕組みも必要と考えるが見解を伺う。

**答** スクールサポートスタッフの配置については、小中学校に71人、特別支援学校に15人、計86人の配置に必要な経費を令和4年度当初予算案に盛り込んだ。一定規模以上の小中学校や配慮を要する児童生徒が在籍する特別支援学校への配置を想定しており、未配置校への巡回や必要に応じた出張なども行いながら、地域全体での感染防止に取り組んでいく。当面は1学期の間の任用としているが、県内における感染状況や、ワクチン接種の進捗状況を踏まえながら、2学期以降の配置を適切に判断する。

また、継続的な学校運営の確保に向けて、県教育委員会事務局内に情報収集・相談窓口班とオンライン活用・業務支援班を編成し、市町村教育委員会と連携して、学校の支援を行っている。

引き続き学校支援のための適切な措置を講じ、児童生徒の健康安全を第一に学びの保障に取り組んでいく。



授業の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 ヤングケアラーへの支援
- 2 ひとり親家庭への支援
- 3 ジェンダー平等社会の実現
- 4 東日本大震災津波からの復興と防災 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



1人目

自由民主党

やました まさかつ  
山下 正勝 議員

二戸選挙区

### 不法投棄現場原状回復後の跡地の利活用

**問** 平成11年11月に発覚した岩手・青森県境産業廃棄物不法投棄事案について、県はこれまで、不法投棄廃棄物などの撤去、土壌や地下水の浄化対策などを講じてきており、原状回復の完了が間近となっている。原状回復後の跡地の利活用に対する住民の関心が高まっているが、県としてどのように考えているのか伺う。

**答** 県は、平成14年10月から原状回復を図るための行政代執行による事業を開始し、有識者や住民、二戸市などで組織する青森・岩手県境不法投棄現場の原状回復対策協議会における議論も踏まえながら、平成26年3月に不法投棄廃棄物の全量撤去を完了するなど、多くの関係者に尽力いただき、着実に事業を進めてきた。

現在は、残された地下水汚染の浄化などに取り組んでいる。令和4年度の原状回復事業終了の目途が立ったところであり、有識者および住民の助言・理解に心から感謝申し上げる。

原状回復後の跡地利活用に当たっては、地元からの意見も参考にしながら、市民による植樹や再生可能エネルギーによる水素の利活用などにより、不法投棄による負のイメージを払拭し、二戸市や協議会と連携して地域の安心感を醸成する取り組みを進めていく。



跡地の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 御所野遺跡の活用
- 2 いわて子どもの森
- 3 葉たばこ廃作農家に係る支援
- 4 建設企業の育成支援 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



2人目

希望いわて

やなぎむら まこと  
柳村 一 議員

滝沢選挙区

### いわての森林づくり県民税

**問** 温室効果ガス排出量2050年実質ゼロの達成に向けた取り組みを積極的に推進するためには、いわての森林づくり県民税の使途を拡大して、グリーン社会の実現への取り組みにも活用していくべきと考えるが見解を伺う。

**答** いわての森林づくり県民税は、本県の豊かな森林環境を次の世代に引き継いでいくことを目的に、間伐や森林づくり活動の支援など、森林環境の保全に関する施策に要する費用に充てている。平成18年度の制度創設以来、管理が行き届かない森林の整備を中心に進めてきたが、本県の森林を取り巻く情勢の変化を踏まえ、令和3年度からは、公益上重要な伐採跡地への植栽を拡充したほか、気象被害を受けた森林の整備などにも取り組んでいる。こうした取り組みはグリーン社会の実現に貢献するもので、引き続き森林環境保全に関する施策を着実に進めていくことが重要と考えている。

温室効果ガス排出量の2050年実質ゼロの達成や持続可能な社会の実現に向けては、オール岩手で気候変動対策を進めていくことが必要である。省エネルギー対策への使途拡大については、県民税の趣旨・目的の見直しや条例改正の検討も必要であり、県民、県議会、市町村の意見を聞きながら議論を深めていく。



県民税を活用した間伐作業

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 いわて県民計画(2019~2028)
- 2 県財政の中長期的な課題と行財政改革
- 3 人口減少
- 4 地球温暖化対策

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



**用語解説** ▶RE100(2ページ) …企業が自らの事業の使用電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的な構想。世界や日本の企業等が参加している。

▶ストック効果(2ページ) …整備された社会資本が機能することで、整備直後から継続的かつ中長期にわたって得られる効果。耐震性の向上や水害リスクの低減などの安全・安心や、生活環境の改善などの生活の質の向上、移動時間の短縮や輸送費の低下などの生産性向上の効果がある。

▶デジタル田園都市国家構想(3ページ) …地方からデジタルの実装を進め、地方と都市の差を縮め、都市の活力と地方のゆとりの両方を享受できる国家の実現を目指すための政府が推進する構想。5Gや半導体、データセンターなど、デジタルインフラの整備を進め、誰一人取り残さず、全ての住民がデジタル化のメリットを享受できるよう取り組みを進めることとされている。





高齢者の就業支援

**問** シルバー人材センターが取り扱う請負業務について、臨時的・短期的な業務は、おおむね月10日程度まで、軽易な業務は、おおむね週20時間程度までと全国一律で制限されている。制限を緩和することにより、高齢者の就業機会の増加や生活の安定が期待できると考えるが県の見解を伺う。

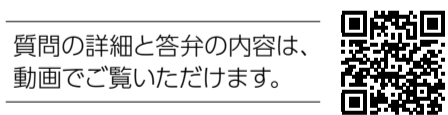
**答** シルバー人材センターの就業日数や、勤務時間を含めた業務内容については、他県における特区を活用した柔軟な対応の事例などを背景に、平成28年4月に高齢者雇用安定法の改正が行われ、厚生労働大臣との協議により、労働者派遣と職業紹介に限り日数の制限のない就業が可能となっている。現状においても労働者派遣か職業紹介の方法によれば5月から11月までの就業日数を増やすことが可能であるが、請負業務は要件緩和の対象から除外されているため、制度の活用が進まない状況である。

法改正の経緯から、特区制度を活用して、さらに請負業務の要件緩和を行うことは難しいと考えている。県としては、健康で働く意欲のある高齢者が活動しやすい環境を構築していくことは重要と考えていることから、岩手県シルバー人材センター連合会などの意見を聞きながら、対応の検討を行っていく。



高齢者の就業の様子

- 上記のほかに、下記についても質問をしています。
- 1 県の行財政運営
  - 2 岩手県戦没者追悼式
  - 3 岩手県満州開拓殉難者の歴史の継承
  - 4 農業施策 ほか



質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



しいたけ原木林の再生

**問** 県では森林整備事業などを活用して原木林の再生に取り組んでいるが、さらなる整備を進めていくためには、原木林再生への道筋を示し、森林所有者や原木しいたけ生産者の意欲を喚起することが必要である。県が方針を示し、原木林の更新を行うべきと考えるがいかがか。

**答** 県では、これまで県内全域でしいたけ原木林の放射性物質濃度検査を実施しており、原木しいたけの出荷制限地域でも放射性物質濃度の低い森林が確認され、原木林として活用される事例が出てきている。また、検査の結果、国が定めた基準を満たす森林の位置を把握しており、その周辺の森林は原木としての活用が可能と見込まれることから、森林所有者などにこうした情報を提供し、活用を促していく。

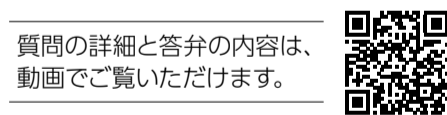
国が行った調査によると、放射性物質濃度が高い土壌であっても、カリウム濃度が高ければ、樹木の成長の過程で放射性物質濃度が低くなる傾向があることが報告されている。

県では、今年度から出荷制限地域内の土壌中のカリウム濃度を調査しており、令和4年度から調査箇所を増やすこととしている。こうした取り組みにより、原木しいたけの出荷制限地域でも生産者が安心して利用可能な原木を確保できるよう、原木林の再生を進めていく。



原木しいたけのほだ場の様子

- 上記のほかに、下記についても質問をしています。
- 1 新型コロナウイルスのオミクロン株への対応
  - 2 コロナ禍における経済対策および事業者支援
  - 3 医療体制の整備
  - 4 平泉の文化遺産の拡張登録 ほか



質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



水田活用の直接支払交付金の見直し

**問** 令和3年12月、水田活用の直接支払交付金の見直しが農林水産省から示された。1970年から減反政策が始まり、本県は他都道府県より積極的に転作に応じてきた。稲作農家からは、この見直しが令和4年度から始まれば経営が成り立たなくなる、離農者が増え耕作放棄地が拡大するのではないかと不安の声が寄せられている。今回の見直しの内容と本県への影響に関し、どのような認識を持ちどのように対応していくのか、考えを伺う。

**答** 国では、米の需要減少が続く中、主食用米から大豆や野菜など定着性・収益性が高く、需要のある品目への転換を一層進めるため、見直しを行ったと承知している。

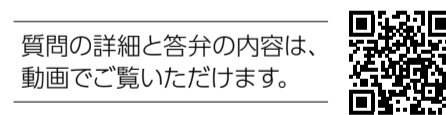
制度の見直しに当たっては生産者の十分な理解が必要と考えるが、生産者などからは交付金の減額による生産意欲の低下や、見直しの提示が唐突などの声が寄せられており、多くの生産者が困惑していると認識している。

県では水田活用の直接支払交付金について、毎年、国に対し助成水準の維持や制度の恒久化、十分な予算措置などを要望してきたところであり、今回の見直しに関しても生産者などの声を国に伝えるとともに、丁寧な説明を行うよう強く申し入れている。地域の実情を踏まえて対応するよう、国に強く求めていく。



稲刈りの様子

- 上記のほかに、下記についても質問をしています。
- 1 令和4年度当初予算
  - 2 医療人材の確保
  - 3 医師の働き方改革
  - 4 周産期医療 ほか



質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

**傍聴の案内** 小学生以下も傍聴できます! 気軽に傍聴してみましよう。

令和4年度から、小学生以下の方も受付をしていただくだけで本会議を傍聴できるようになりました。また、親子で傍聴された際、お子様が泣いた場合などにお休みいただく場所として、議会棟1階の別室(本会議のテレビ中継の視聴可)を利用することができます。

委員会の傍聴についても、同様の取り扱いとしています。

※傍聴人数が10名を超える場合は、事前にお問い合わせください。

◆お問い合わせ／岩手県議会事務局 総務課 電話:019-629-6006(直通)



3人目

自由民主党

たかはし 高橋 こうすけ 議員

盛岡選挙区

### デジタルトランスフォーメーション (DX) の推進

**問** 新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活に大きな制限をもたらした一方で、デジタル化を一層推進していく必要性を顕在化させた。県におけるDXの推進、デジタル社会実現の中核組織として、いわてデジタルトランスフォーメーション推進連携会議が設置されたが、どのような役割を期待し、どのような成果を目標に取り組みを進めていくのか伺う。

**答** 本会議は、社会のデジタル化を通じて地域経済の活性化や快適な暮らしの実現を目指し産学官金を構成員として設置したもので、経済界・産業界には積極的なDXの導入と企業間の連携、高等教育機関にはDX人材の育成と企業の高度化支援、金融機関にはDXを進める企業の育成と支援などの役割を連携して担ってほしいと考えている。令和3年度は構成団体のトップを対象とした講演会を実施して機運醸成を図るとともに、デジタル化・DXの必要性や課題解決の対応について検討を行った。

令和4年度は、新たに構築するDXポータルサイトによる情報発信、デジタル化・DXに係る表彰制度の新設など、引き続きDX推進の機運醸成に取り組むとともに、DXアドバイザーの派遣によるデジタル人材育成のほか、大学などの研究機関と各分野間との連携が進むよう支援を行い、一層のDXの推進を図っていく。



県のDXに係る取組事例

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 GIGAスクール構想
- 2 防災対策
- 3 消防の体制整備
- 4 新型コロナウイルス感染症への対応 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



1人目

いわて県民クラブ

くどう かつひろ 工藤 勝博 議員

八幡平選挙区

### 歴代知事の足跡と岩手の展望

**問** 歴代知事の業績は多岐にわたっているが、行政のトップリーダーとしての足跡を知事はどう評価し、どう生かしていくのか。また、歴代知事の足跡を踏まえ岩手の21世紀をどのように展望しているか併せて伺う。

**答** 阿部知事は北上川の治水、五大ダムの建設を成し遂げたほか、工業立地の基礎固めに尽力するなど戦後復興を軌道に乗せ、今の岩手の骨格を築いた。千田知事は高度経済成長を背景に岩手県総合開発計画に基づき様々な施策を推進し、中村知事は新幹線、高速道路、花巻空港のジェット化など、高速交通化を軸として岩手県をさらに発展させた。工藤知事はねりんピックいわてなどのイベントを成功に導き、県立大学構想を打ち出すなど教育伸長に尽力され、増田知事は地方分権改革や県民の県政への参画推進など、厳しい財政環境の中、いわゆる改革派知事として活躍された。いずれも高い土着性と先進性をもって今日の岩手の礎を築いた大きな功績があるものと評価している。

県政運営においては、歴代知事の事績を心に留め、継承、発展させていくことが重要と考える。岩手の未来を展望するためにも、岩手県政150周年記念事業などを通して、本県発展の基礎を築いてきた先人の偉業と努力に感謝し、岩手の歴史を振り返っていきたい。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 瀬戸際にある農業の振興
- 2 コロナ禍後の観光産業の振興
- 3 コロナ禍における教育と専門高校での人材育成
- 4 構想路線「(仮称)久慈内陸道路」の整備

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



2人目

日本共産党

さいとう しん 斎藤 信 議員

盛岡選挙区

### 新型コロナ・オミクロン株感染拡大から県民の命と暮らしを守る課題

**問** 県内の新規感染者は、令和4年2月は6,000人を超え、クラスター発生は1月の3.5倍以上となっている。オミクロン株の特徴と感染の急拡大をどう認識しているか。

国は、デルタ株を前提にした対処方針を変えていないが、県として、オミクロン株に対応した全体的なパッケージの対処方針を示して取り組むべきと考えるが、所見を伺う。

**答** オミクロン株は感染拡大のスピードが極めて速い一方、基礎疾患などを有しない50歳未満の感染者の多くは、症状が軽いなどの特徴が指摘されている。

岩手県においては、令和4年1月8日にオミクロン株の市中感染が確認されて以降、感染が急拡大しており、学校や教育・保育施設を中心に多くのクラスターが確認されているほか、高齢者施設のクラスターも複数確認され、高齢層の感染者数も増加していると認識している。

県では、県の基本的対処方針の下、岩手緊急事態宣言を行い、オミクロン株の特性も考慮し、一定の社会・経済活動を維持しながら、効果的な感染対策となるよう取り組むとともに、医療については、重症化リスクが低く入院などの必要がない方の自宅療養の体制を整備し、高齢者や基礎疾患を有する方などに必要な医療を適切に提供できるよう取り組んでいる。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 ロシアによるウクライナ侵略
- 2 東日本大震災津波からの復興の課題
- 3 気候危機を打開するための課題
- 4 不來方高校バレーボール部員の自死問題 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



若者向け傍聴案内ポスターデザインコンテスト入賞作品の中から2月定例会のポスターを作成しました。

岩手県立不來方高等学校 藤館 奈央 さん

若い人に向けて描こうと思ったので、中央に学生を描き、自分で岩手をカスタムしているようなポスターにしました。カラフルに描くことで、岩手が活発な活動をしている様子を表現しました。このポスターを見て県議会に興味をもってくれたら嬉しいです。素晴らしい賞をいただけてとても嬉しいです。ありがとうございました。



### いわて県議会 開催告知・傍聴推進ポスター ポスターデザインを募集します

募集期間は4月28日(木)から5月31日(火)まで。岩手県内に在住、または岩手県内の高校・大学・専門学校等に在学している、30歳未満の学生の方であれば、どなたでも応募できます。詳しくは岩手県議会公式ホームページのポスター募集バナー、各学校等に配布されている募集チラシをご覧ください。



# 予算特別委員会のあらまし

## 令和4年度一般会計予算について、意見を付して原案を可決

予算特別委員会は、県の予算を総合的に検討し、予算審査の一体性を確保するために議長を除く全議員を構成員として設置される委員会です。通常、翌年度の当初予算が提案される2月定例会で設置されます。

令和3年度は、令和4年3月7日から18日まで開催され、令和4年度一般会計予算などの議案26件の審査が行われました。委員長には軽石義則委員（希望いわて、盛岡選挙区）、副委員長にはハクセル美穂子委員（いわて県民クラブ、滝沢選挙区）が互選されました。

令和4年度一般会計予算の総額は、7,922億3,500万円余（対前年度比2.3%減）です。新型コロナウイルス感染症対策として、医療提供体制の強化やワクチン接種体制の確保などの感染拡大防止を図りつつ、社会生活・経済活動を支える取組を実施し、「いわて県民計画（2019～2028）」のもと、県民の幸福度向上を図る10の政策やI・L・Cプロジェクトなどの「新しい時代を切り拓くプロジェクト」を着実に推進するとともに、人口減少社会への対応、デジタル化の推進、グリーン社会の実現の3つのテーマに沿った取組について、重点的に実施するほか、東日本大震災津波からの復旧・復興に係る事業について、被災者の心のケア、伝承・発信等、必要な取組を着実に実施するための予算として編成したものです。

初日および2日目の知事が出席する総括質疑のほか、部局ごとに審査が行われ、連日活発な質疑が交わされました。

審査の結果、予算特別委員会に付託された議案は全て可決されました。



予算特別委員会の様子

### ◎令和4年度岩手県一般会計予算附帯意見

一般会計予算の可決に当たっては、次の意見が付されています。

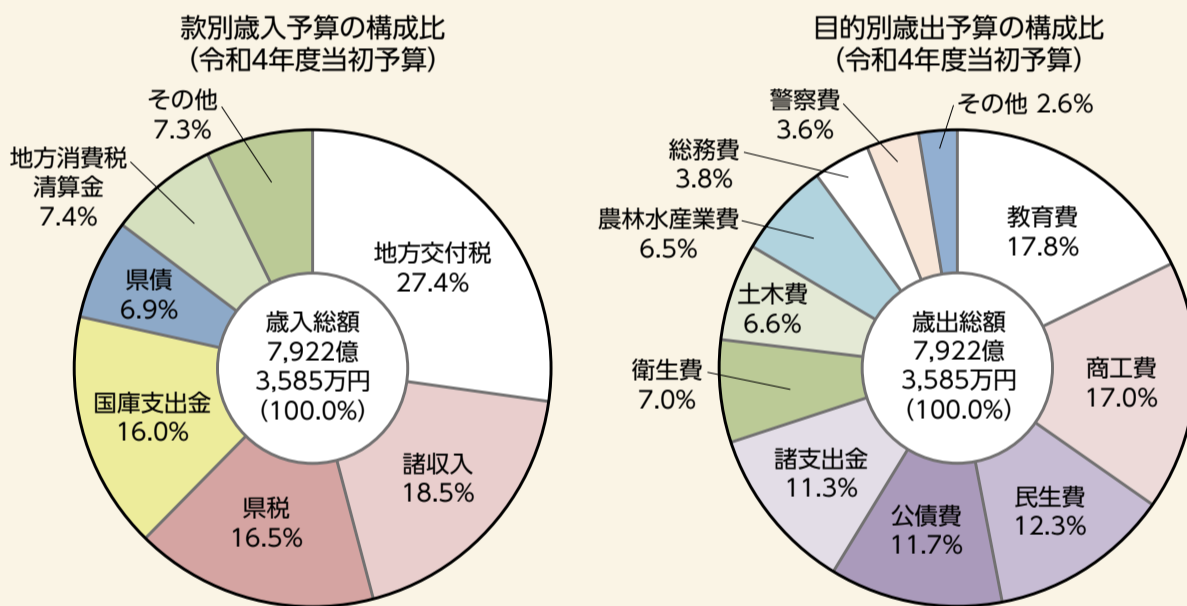
令和4年度岩手県一般会計予算の執行に当たっては、審査の中で成果指標の妥当性や指標の見直しの必要性が指摘されていることから、次の点に留意されたい。

人口減少対策については、若年女性の県外流出に歯止めをかけるため、県内で働く女性が抱える困難などの課題を的確に把握した上で、生み育てる環境の整備を図るほか、中長期的な戦略的施策を講じること。

新型コロナウイルス感染症対策に当たっては、医療体制の充実や的確な経済対策が行われるよう課題を積極的に把握し、機動的に対応すること。

厳しい県の財政状況のもと、県内の状況を把握し、国に対して財源の確保と地方の実情を反映した制度設計になるよう提言すること。

また、東日本大震災津波からの復興の進捗や新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢の変化を見据えて、県民の幸福につながるよう、いわて県民計画次期アクションプランの策定に努められたい。



## 新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会の活動状況

新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会は、令和3年10月に設置され、新型コロナウイルス感染症対策に関する調査を行ってきました。委員長は高橋はじめ委員（希望いわて、北上選挙区）、副委員長は城内よしひこ委員（自由民主党、宮古選挙区）です。

ここでは、令和3年11月24日、令和4年1月12日および2月15日に行われた委員会についてお知らせします。

### 委員会 令和3年11月24日実施

執行部から新型コロナウイルス感染症対策の取組状況について説明を受け、その後、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用状況、ワクチンの接種状況、PCR検査センターの利用状況、保育施設における感染対策、疫学調査の実施体制、事業者に対する支援の状況などについて、質疑が行われました。



### 参考人招致 令和4年1月12日実施

大阪市立大学医学部 名誉教授 井上正康氏をお招きし、「新型コロナウイルス感染症とワクチン～大切な生命を守る為に～」について説明を受けた後、感染症への対策、ワクチン接種と免疫の関係などについて意見交換を行いました。



### 令和4年2月15日実施

盛岡市保健所 所長 矢野亮佑氏をお招きし、「盛岡市保健所から見た新型コロナウイルス感染症」について説明を受けた後、保健所間の情報共有、今後の保健所体制強化、感染症対策のあるべき方向などについて、意見交換を行いました。



# 東日本大震災津波復興特別委員会の活動状況

東日本大震災津波復興特別委員会は、平成23年9月に設置され、東日本大震災津波に係る復旧・復興等に関する調査を行ってきました。現在の委員長は名須川晋委員（希望いわて、花巻選挙区）、副委員長は神崎浩之委員（自由民主党、一関選挙区）です。

ここでは、令和3年11月の現地調査、令和4年1月14日と3月24日に行われた委員会についてお知らせします。

## 現地調査

被災市町村の復興に向けた取組状況を把握するとともに、被災地における現在の状況、課題を調査するための現地調査を実施しました。

いただいた御意見、御要望等は、今後の復旧・復興対策に反映させるように取り組んでいくこととしています。

令和3年11月2日

市町村	調査内容
洋野町	被災地でのものづくり
久慈市	被災地の企業の取り組み
—	三陸鉄道震災学習列車乗車(久慈駅～田野畑駅)

令和3年11月5日

市町村	調査内容
釜石市	物流における三陸沿岸道路開通の効果
大船渡市	被災跡地を活用した農業
—	三陸鉄道震災学習列車乗車(宮古駅～鶴住居駅)



三陸鉄道震災学習列車乗車の様子



被災跡地でのイチゴ栽培視察の様子

## 参考人招致

令和4年1月14日実施

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 戦略研究部門震災復興・放射性物質研究拠点長 篠宮佳樹氏および森林研究部門 きのこと・森林微生物研究領域長 平出政和氏をお招きし、「福島第一原子力発電所事故による放射性物質の森林における影響」について説明を受けた後、樹木の萌芽更新と放射性セシウムとの関係、放射性セシウムを吸収した森林土壌へのカリウム施肥の実現性、生態系への影響などについて意見交換を行いました。



## 委員会

令和4年3月24日実施

執行部から東日本大震災津波からの復興の取組状況について説明を受け、その後、日本海溝・千島海溝地震への備え、被災地における暮らしの再建、なりわいの再生の状況、住民の実感度、移転跡地の活用、いわて被災者支援センターの運営などについて、質疑が行われました。



開催  
予告

## 夏休み！親子県議会教室開催のお知らせ

県議会では今年度も「親子県議会教室」を開催します。県内の小学校・義務教育学校に通う5・6年生と保護者の皆様の参加をお待ちしています。

### 開催概要

- 開催日：令和4年8月6日(土)
- 開催場所：岩手県議会議事堂
- 内容(予定)：・県議会議事堂を探検してみよう ・県議会議員とのふれあいトーク ・県議会クイズ など

参加方法 6月中旬から岩手県議会ホームページなどでお知らせします。

※昨年度の様子は  
岩手県議会  
ホームページを  
ご覧ください。



岩手県議会

検索

携帯電話・  
スマートフォン  
からはこちら



県議会からの  
お知らせ

### ●インターネット中継

県議会ホームページでは、[本会議や予算・決算特別委員会の模様をライブ中継しているほか、録画中継も行っています](#)ので、ぜひご覧ください。

### ●本会議のYouTube配信

一般質問の様子をYouTubeで動画配信しています。岩手県議会公式動画チャンネルからご覧ください。

岩手県議会公式動画チャンネル

検索



### ●テレビ広報 県議会ダイジェスト番組「きょうの県議会」

一般質問が行われた日に、質問の様子を3分程度にまとめた番組を、テレビ岩手、岩手めんこいテレビは18時50分台、岩手朝日テレビは18時40分台に放送します(放送時間は変更になる場合があります)。

### ●請願の提出について

請願の提出には、[県議会議員の紹介\(署名\)](#)が必要です。請願を提出する方は、[審査を希望する定例会の招集日までに会派など\(議員\)に対して十分に説明](#)を行い、議員の紹介を受けた上で、[請願審査が行われる常任委員会開催予定日の3日前の正午](#)までに県議会事

務局に提出してください。

なお、提出期限などの具体的な日時は、定例会ごとに会期などと併せてホームページでお知らせします。

### ●一般質問に登壇する議員と質問項目

各定例会で一般質問に登壇する議員と質問項目は、[定例会開会日の本会議終了後に県議会ホームページ](#)でお知らせしています。

県議会ホームページで「一般質問通告」をクリック！

### ●県議会ホームページ

県議会ホームページは、[音声読み上げや文字サイズ・配色の変更ができるなど、どなたにも利用しやすい環境](#)となっております。また、岩手県議会の役割や議員のしごとなどをわかりやすく紹介する動画「わたしたちの岩手県議会」をYouTubeで公開しています。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

